

国際ロータリー 第2500地区 第4分區
遠軽ロータリークラブ
THE ROTARY CLUB OF ENGARU, AREA 4, RID2500

第3054回例会記録

日時：2022年12月22日(木)12:30～

会場：ホテルサンシャイン2F

司会：石井 朋子 SAA

★開 会 点 鐘：高井 一博 会長

★国 歌：-

★Rソング：それでこそロータリー

★四つのテスト：-



イマジン ロータリー

2022-2023年度 国際ロータリーテーマ

2022~2023 Weekly Report No.23

本日のプログラム

1月 5日(木) 新年交礼会
18:00

1月 12日(木) クラブフォーラム
上半期報告
12:30～

次回のプログラム

久木 佐知子 RID2500 ガバナー スローガン：ともに紡ごう！ ロータリーの未来へ
高井一博 遠軽RC会長 スローガン：奉仕しよう 現在(いま)そしてあすにむけて

会長報告 高井 一博 会長②

みなさんこんにちは

今日の例会プログラムは社会奉仕委員長嶋会員による卓話となっております。よろしくお願いたします。

先週行われましたクリスマス家族会には会員と多くの家族の方々の出席を頂いた中、チャリティーオークションに於きましても皆様には多大のご協力を頂きました事に改めてお礼申し上げます。

一昨日、乾淳幹事③と共に遠軽町社会福祉協議会会長であります大河原忠宏様①を訪ね、益金の一部を贈呈してまいりました。長年に亘り継続しておりますこの活動は、次年度以降も続けていくべきと考えます。

今日は冬至です。日本では「死に近い日」を意味して、その「厄を払う日」が冬至と言われたそうです。昔は一年中作物が採れた訳ではなく、食料が少ない中であって冬を越すのが大変で、その冬を越せないと「死」が待っており、それを乗り越えるため夏に採れた「かぼちゃ」を保存しながら大事に食べて冬を越したといひます。また、厳しい冬を無事に乗り越えられるように「厄を落とす日」という意味も込められているという事です。古くからの言い伝えでは、冬至に天気よければ翌年は豊作、雪が降れば豊作、雷なれば翌年雨が多いそうです。

早いもので今日は本年最後の例会となりました。本年もコロナの感染状況を鑑みながら月日が過ぎました。当クラブ内では幸い生命にかかわる重大な事態には至らずホッとしています。

年末を迎え何かと慌ただしい日々が続きますが、健康に留意され2週間後の新年例会には多くの会員皆様の出席をいただき、2023年のスタートを祝いたいと思います。

本日の例会よろしくお願いたします。

幹事報告 乾 淳 幹事

1. 地区ガバナー事務所より年末年始休業案内。
12月28日(水)～1月5日(木)
2. 本日例会終了後、理事会を開催致します。



委員会報告

- ◇佐藤 和徳 親睦活動委員長⑤
先週の藤田会員④夫妻にダイヤモンド婚記念のお花贈呈時の写真を写真立てに入れて贈ります。
- ◇前島英樹 青少年奉仕委員長
地区インターアクト短期海外研修および同大会はコロナ禍状況を考慮し中止になりました。
- ◇佐藤 直也 会員
先月、運営するホームでコロナ・クラスターが発生。その時の状況や情報等をシェアしたいと思います。《以降号で掲載予定》

【名前後の○数字は写真とその中の番号】

本日のプログラム 会員卓話

効率的な貯蓄を考える

～NISA、iDeCo(個人型確定拠出年金)・企業型確定拠出年金
社会奉仕委員会 長嶋 宏明 会員⑥

今日は標題のお話をさせていただきます。今日のお話は難しいので、ポイントとして「なんだかわからんけど、こういうことに詳しい人がある」ということを知って頂ければ幸いです。

岸田政権が貯蓄から投資へという発言をしています。その理由として日米の個人金融資産の比較をしていきたいと思います。1990年日本の金融資産は1017兆円。アメリカは1,600兆円でした。約20年後の2018年日本は1,800兆円、アメリカは5倍の8,100兆円となりました。さらに投資信託を比較すると、1990年日本は46兆円、アメリカは106兆円。2018年のニッポンは105兆円、アメリカは1,900兆円の約17倍。金額にして1800兆円の増加です。この20年で日本の個人金融資産の増加を果たしました。

先週の16日に令和4年度税制改正大綱が発表になりました。NISAの制度が2024年から変わります。まさに所得倍増計画や2年前に発表になりました、老後資金2,000万円不足問題に対応する制度とってください。つみたてNISAは2042年まで、一般NISAは2028年までだったものが、恒久化に。非課税期間がつみたてNISAは20年、一般NISAは5年間だったものが無期限に。年間投資期間がつみたてNISAが40万円だったものがつみたて枠として120万円。一般NISAは120万円が成長投資枠として240万円。非課税限度額はつみたてNISAは800万円、一般NISAが600万円だったものがトータルで1800万円になり、そのうち1,200万円は成長投資枠として投資が可能に。つみたてNISAと一般NISAの併用が不可能だったものが、併用可能となります。

更にiDeCo (図参照) と企業型確定拠出年金について。これについては基礎年金が1階建て。厚生年金や国民年金基金が2階建て。iDeCoと企業型確定拠出年金については3階建ての位置するものになります。iDeCoについての掛金ですが、個人事業主は6.8万円。専業主婦や会社員は2.3万円。公務員は1.2万円になっています。企業型確定拠出年金については掛金が5.5万円となっております。実はこのiDeCoと企業型確定拠出年金は所得税・住民税込みで貯蓄ができる制度なのです。所得税・住民税は超過累進課税と言われていたのですが、正式には超過累進課税と言います。縦軸が所得、横軸が税率で表すと、所得の低い人は低い税率。所得が上がっていくと高い税率になるのですが、195万円までが15%。これを越えた195-330万円が20%、330-695万円の間に30%、695-900万円の間に33%、900-1,800万円の間に43%、1,800-4,000万円が50%となっています。例えば、所得税・住民税が30%の人がこのiDeCoを使って2.3万円貯蓄すると、iDeCoを使わないで貯蓄をすると16,100円になり約7,000円の差がでます。16,100円を30年間貯蓄すると579万円。iDeCoを使って貯蓄すると828万円になります。更に5%の運用商品を使うと1,900万円になるので。更にiDeCoは退職所得控除を採用しますので、828万円はそのまま、1,900万円は1,863万円の手取になります。

iDeCoの拠出限度額について

加入資格	拠出限度額
(第1号被保険者・任意加入被保険者) 自営業者等	月額6.8万円 (年額 81.6万円) (国民年金基金または国民年金付加保険料との合算枠)
(第2号被保険者) 会社に企業年金がない会社員	月額2.3万円 (年額 27.6万円)
会社員 公務員等	月額2.0万円*3
会社員 公務員等	月額1.2万円*4
会社員 公務員等	月額1.2万円 (年額 14.4万円)
公務員	月額1.2万円 (年額 14.4万円)
(第3号被保険者) 専業主婦(夫)	月額2.3万円 (年額 27.6万円)

*1 企業型DCとは、企業型確定拠出年金のことをいう。
*2 DBとは、確定給付企業年金(DB)、厚生年金基金、石炭鉱業年金基金、私立学校教職員共済をいう。
*3 企業型確定拠出年金(企業型DC)のみ加入する場合 月額5.5万円-各月の企業型DCの事業主掛金額(ただし、月額2万円を上限)
*4 企業型DCとDB等の他制度に加入する場合 月額2.75万円-各月の企業型DCの事業主掛金額(ただし、月額1.2万円を上限)

ます。また、退職所得控除ですが、iDeCoを先に受け取った後、5年間空けない場合7万円を35年積み立てた金額は3,535万円。所得税住民税は530万円かかり、手取りが3,005万円。それに対し、明けた場合の所得税・住民税は214万円の手取りが3,321万円になります。その差316万円です。

あと、12月16日に発表になった税制改正大綱の気になった点について。相続が発生した場合、相続開始から3年以内の渡したのものについては持ち戻して、再計算するという決まりがあります。今回の改正でその期間が3年から7年に変わります。それはどういうことかということ、渡すものは早めに渡しなさいということになります。そもそも、2年間から贈与・相続税の一体改革が行われてきました。なぜかという、日本の贈与に関しては110万円以下は無税であったり、暦年贈与をしながら110万円ずつ渡したりしていましたが。これは世界的に見ても行われていないもので、アメリカやヨーロッパでは渡したものを全て相続時に計算することになっているので、今回その改革が行われました。そのことを踏まえて何かあれば、相談頂ければと思います。

ご清聴ありがとうございました。

ニコニコBOX 佐藤 和徳 親睦活動委員長
乾 淳君 共栄自動車(株)新事務所完成 5,000円
2022-23年度 合計334,000円

☆閉会点鐘：高井一博会長 ☆今号会報担当：山田荘一委員

2022-23_23rd-03

出席報告	例会日	会員数	出席計算 会員数	出席者数	メイク アップ	出席率	無断欠席
須藤順一 出席委員長	12月15日	41	39	30	1	79.5%	
	12月22日	41	39	27		69.2%	

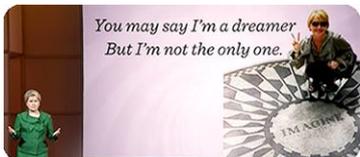
編集・発行：メディア委員会
委員長：加藤幸徳 副委員長：東海林勉
委員：上田 稔 佐藤直也 棚橋 忠
前島英樹 山田荘一

2022-2023年度 国際ロータリー

会長：ジェニファー E.ジョーンズ(カナダ)
第2500地区ガバナー：久木 佐知子(旭川西RC)
第4分区ガバナー補佐：久保 元(雄武RC)

遠軽ロータリークラブ www.engaru-rc.com

会長：高井一博 副会長：藤田礼三
会長エレクト：高橋義詔 幹事：乾 淳
会計：島田光隆 SAA：石井朋子
直前会長：本間克明 事務局員：岡本奈津美
◇1959年9月12日創立/1959年11月7日認証



【事務局】〒099-0415 北海道紋別郡遠軽町若見通南1丁目 遠軽商工会議所内
Tel 0158-42-5201 Fax 42-5134 E-mail: info@engaru-rc.com
【例会場/日】北海道紋別郡遠軽町大通北1丁目 ホテルサンシャイン Tel 0158-42-1151 毎週木曜日12:30~13:30 *第3木曜日は夜間例会 18:00~(19:00)